

先端総合学術研究科 科目概要

分野	科目名	科目概要
基礎目講読	超領域講読演習	この科目では、人文社会学の考え方、批判的思考形式、基礎学力を体系的に習得し、かつ超領域的な研究の重要性を理解することを目的とする。具体的には国内外のテキストの集中的な購読と小報告、討議によって進め、研究的思考を養い、学術的批判の視角を身につけること、そして本質的かつ重要なクエッションを生成することの重要性を理解すること、を学生の目標とする。
応用講読科目	公共講読演習	本科目は、分野横断的な視角から現代社会の公共的、福祉的な諸課題に向き合うための方法を批判的に検討することを目的とする。具体的には、公共領域の研究ならびにフィールド研究をテーマに、人文諸科学研究者の手によるテキスト(論文および著作からの抜粋)の集中的な講読および方法論に関する講義を通じ、国内外に生起する/したあらゆる事象に対し、それぞれが独自の解釈を表現できるようことを学生の目標とする。
	生命講読演習	本科目は、分野横断的な視角から現代社会の生命論、生命科学、科学技術論、医科学、社会保障的な諸課題に向き合うための方法を批判的に検討することを目的とする。具体的には、生命領域の研究ならびにフィールド研究をテーマに、人文諸科学研究者の手によるテキスト(論文および著作からの抜粋)の集中的な講読および方法論に関する講義を通じ、国内外に生起する/したあらゆる事象に対し、それぞれが独自の解釈を表現できるようことを学生の目標とする。
	共生講読演習	この科目では、分野横断的な視角から現代社会が共生において直面する諸課題をテーマにし、それらの課題に向き合うための理論と方法論を批判的に検討する。共生領域に貢献する論文や著作を集中的に購読し議論するという教育方法を採用。この科目を通じて、現代社会の共生において生じる諸事象に対し、有意義な理論や方法を用いて独自の解釈をできるようにする。
	表象講読演習	この科目では、分野横断的な視角から現代社会の表象で生じる諸課題をテーマにし、それらの課題に向き合うための理論と方法論を批判的に検討する。表象領域に貢献する論文や著作を集中的に購読し議論するという教育方法を採用。この科目を通じて、現代社会の表象において生じる諸事象に対し、有意義な理論や方法を用いて独自の解釈をできるようにする。
主題別科目	公共論	本科目は、公共性の主題において核心をなす諸問題について幅広い射程から捉えるための学術的方法を紹介し、批判的に検討することを目的とする。具体的には、社会福祉、社会保障、権利保障、法・正義・民主主義等をテーマに、さまざまな社会課題を通時的・共時的に比較検討することを通じて出来事と思想を結ぶ回路を拓き、公共性をめぐる柔軟かつ粘り強い思考力を身につけることを学生の目標とする。
	生命論	本科目は、生命論において基本的な重要性をもつ課題を取り上げ、批判的に検討することを目的とする。具体的には、市民社会での生命と環境の再考、身体の政治的・文化的意味の分析、医療や科学技術のELSIをふまえることで、新しい生命論の基盤を理解することを学生の目標とする。
	共生論	本科目では、共生という主題から世界を捉える際に不可欠な知識と批判的な視座を取り上げる。異文化・他者理解のために培われてきた学術的方法、多文化主義をはじめとする政策的議論、自然と人間ないし社会のかかわりをめぐって展開されてきた思想の系譜などの人類学的共生論の研究を相互に橋渡ししながら把握し、批判的に議論する。この授業は、未来を見据えるにあたって柔軟かつ寛容な視座を身につけることを目標とする。
	表象論	この科目では、表象という領域の現代的広がりを捉えるために必要な基礎的理論と研究方法を取り上げる。日本芸能、アート、マス・メディア、教育、レストラン、デジタルエンターテインメント、モバイル機器のコミュニケーションやプラットフォームのインタラクションなど、幅広い分野での表象現象の事例や、それらを分析・考察する先行研究を論じる。この授業を通じて、日常生活の随所に潜む表象の力学を理解し、分析するための基礎知識と感性を身につけられるようになる。
	特殊講義	特殊講義は先端総合学術研究科の領域にまたがって提起されている問題を取り扱う。この科目では、先端的に研究している担当者による講義という方法を中心に、対象テーマによりディスカッションやフィールドワークといった教育方法を採用。本科目を通じて、各領域で扱いきれない関連分野からの研究素材を扱うことで、研究の視野を拡大し、研究構想を深化し、領域横断的な研究への展望を獲得できるようになる。
サポート科目	デジタルデザイン	この科目では、現代的人文社会学研究で欠かせない知識リソースの扱い方、研究活動におけるデジタルコミュニケーション、データ処理、知識アーカイブのデザインをテーマにする。研究で扱う様々な情報やデータを作成、収集、編集、加工、処理、保管することを実習的に行う方法を採用。この授業を通じて、独自のデジタルコンテンツを作成し、分析し、その結果を発信するための一連の技術と構想力を身につけることができる。
	アカデミックライティング	本科目では、英語や日本語での研究発信のための文章、文書作成をテーマにする。具体的には書誌データベースの活用、抄録誌等の利用法、メーリングリストの投稿やハゲタカジャーナルの見分けから、論文のアウトライン作成、要旨、論文執筆まで幅広く扱う。それらを実習をすることを通じて、情報生産のために必要不可欠な発信力、表現力、文章作成能力を養成できるようになる。
	リサーチマネジメント	本科目では、研究遂行に必要なデータの獲得、利用、公開において必要なスキルの習得を目的とする。具体的には、各種資料収集、当事者への聞き取り調査、文献調査、リサーチ・メソッドの基礎等をテーマに、多岐にわたる調査手法の有用性と限界および調査倫理について把握したうえで各自の研究計画に見合った調査を立案・遂行する能力を身につけるほか、研究倫理上の問題、資金調達や心身の安全に関するリスクなどの課題を乗り越えて調査研究を完成させるためのスキルを磨くことを学生の目標とする。

分野	科目名	科目概要
プロジェクト科目	プロジェクト予備演習Ⅰ	この授業では、単独・共同のプロジェクト研究への取り組み方をテーマにする。研究テーマの選択や明確化の上でのプロジェクトデザインを実習的に学ぶ方法を採用。本科目を通じて、研究への基礎的な取り組み方を身につけ、研究意欲を高め、プロジェクト研究に必要な知識と方法論を身につけられるようになる。
	プロジェクト予備演習Ⅱ	この授業では、単独・共同のプロジェクト研究への取り組み方をテーマにする。単独や分担での研究の実行や成果発表の仕方までを実習的に学ぶ方法を採用。本科目を通じて、研究への基礎的な取り組み方を身につけ、研究意欲を高め、プロジェクト研究に必要な知識と方法論を身につけられるようになる。
	プロジェクト予備演習Ⅲ	この授業では、これまで行ってきたプロジェクト研究を論文化することをテーマにする。論文執筆を進めながら、その進捗状況について報告し、議論や助言を受ける方法を採用。本科目では、プロジェクト研究の成果を発信するために必要不可欠な知識や技術を身につけ、情報生産プロジェクト演習を履修するための条件である博士予備論文を執筆できることを目標とする。
	超領域実践プロジェクト	この授業では、基礎的なプロジェクト研究への理解を踏まえ、学内研究所・センター群との連携、外部の著名研究者も招聘した教育などを行いつつ、超領域的なプロジェクト研究の実践を行う。具体的には、ディシプリンを超えたプロジェクト研究を実際に行うこと、多様かつ複数の研究者と協働してプロジェクト研究を行うためのネットワーク構築、実際のプロジェクト研究の遂行を行うことなどが目標となる。これらを通じて、新たな研究潮流の生成をプロジェクト研究によって目指すことの意義を理解し、プロジェクト研究遂行能力の向上を図る。
	情報生産プロジェクトⅠ	本科目は分野横断的な視点から、それぞれ公共論、生命論、共生論、表象論における先端的な研究を切り開き、新しい学問的知見を当該研究領域に開拓していくことを学生の目標とする。具体的には、院生による研究報告や調査報告に対する議論、批判、助言等を通じて、自身の研究プロジェクトの成果の発信の場、あるいはそのための実践的な経験を蓄積する場である。
	情報生産プロジェクトⅡ	本科目は分野横断的な視点から、それぞれ公共論、生命論、共生論、表象論における先端的な研究を切り開き、新しい学問的知見を当該研究領域に開拓していくことを学生の目標とする。具体的には、院生による研究報告や調査報告に対する議論、批判、助言等を通じて、自身の研究プロジェクトの成果の発信の場、あるいはそのための実践的な経験を蓄積する場である。
	情報生産プロジェクトⅢ	本科目は分野横断的な視点から、それぞれ公共論、生命論、共生論、表象論における先端的な研究を切り開き、新しい学問的知見を当該研究領域に開拓していくことを学生の目標とする。具体的には、院生による研究報告や調査報告に対する議論、批判、助言等を通じて、自身の研究プロジェクトの成果の発信の場、あるいはそのための実践的な経験を蓄積する場である。
	情報生産プロジェクトⅣ	本科目は分野横断的な視点から、それぞれ公共論、生命論、共生論、表象論における先端的な研究を切り開き、新しい学問的知見を当該研究領域に開拓していくことを学生の目標とする。具体的には、院生による研究報告や調査報告に対する議論、批判、助言等を通じて、自身の研究プロジェクトの成果の発信の場、あるいはそのための実践的な経験を蓄積する場である。